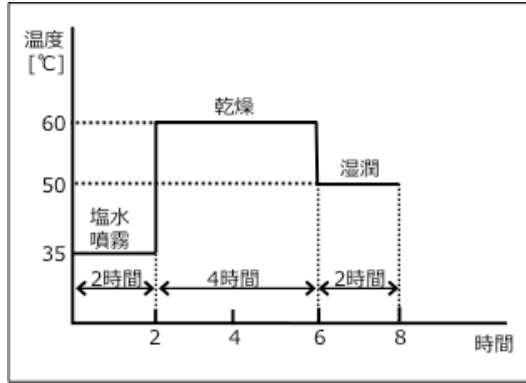


製品の耐食性評価試験①（複合サイクル試験）

事例	金属製品の耐食性を調べるために複合サイクル試験を行いました。	
試験内容 と結果	<p>複合サイクル試験は、塩水噴霧、乾燥、湿潤、冷却(及び浸漬)を任意の組み合わせで繰り返し行う耐食性に関する促進試験です。実環境での屋外暴露試験に比べて、短期間で結果を得ることができます。</p> <p>新しい表面処理を行ったアルミニウム製品について、屋外での使用が想定されるため耐食性の確認を行いました。試験条件は、JIS K 5600-7-9のサイクルA(塩水噴霧 2時間→乾燥 60℃, 4時間→湿潤 50℃, 2時間)とし、30サイクル(240時間)繰り返しました。試験後も表面状態は初期の状態が保持されており、従来品よりも耐食性が良いことがわかりました。この試験により、新しい表面処理方法の有効性を確認できました。</p>	
使用装置	 <p>図1：試料を設置した試験槽の様子</p>	 <p>図2：サイクル試験の工程</p> <p>メーカー名:板橋理化学工業株式会社 型式: TQ-2F 【機器の概要】 表面処理を施した樹脂や金属、または金属材料自身の耐食性を評価する装置です。「塩水噴霧・乾燥・湿潤・外気導入・浸漬・低温」の6つの工程から任意で試験条件を設定できます。</p> <p>乾燥：20～70℃(湿度25±5%rh 60℃において) 湿潤:50～70±1℃(湿度60～95±5%rh 50℃において) 浸漬:(外気温度+10℃)～60±1℃(浸透液温度) 低温:-20℃～20℃ 外気導入:外気温と同等</p>
手数料	<p>複合サイクル試験 3, 300円/24時間ごと</p> <p>写真撮影をご希望の場合には、別途料金が必要となります。</p> <p>(写真は3枚まで2, 500円とし、3枚増すごとに2, 500円を加算する)</p>	

※試験時間、試料形状などの試験条件、並びに試験結果の評価は受渡当事者間の協定または自社内規定により行ってください。